

2019年度 甲南大学大学院 入試問題

区 分	研究科	専 攻	試験科目	試験時間	試験日
修士一般 (2次募集)	社会科学 研究科	経済学専攻 税理コース	専門 (財政学)	60分	2019年2月16日

次の2問のうち、いずれか1問を選択して解答しなさい。

1 働き方改革に関する次の問いに答えなさい ((1) (2) いずれにも解答すること)。

(1) 2018年6月15日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2018」では、少子高齢化が進む中、持続的な成長経路の実現に向け潜在成長率を引き上げるためにサプライサイドの強化として、人材の質を高める「人づくり改革」、成長戦略の核となる「生産性改革」とともに、「働き方改革」の推進を重点的取組としてあげている。この「働き方改革」について具体的に説明しなさい。

(2) (1)の働き方改革による経済成長の実現可能性について論じなさい。

2 消費税に関する次の問いに答えなさい ((1) (2) いずれにも解答すること)。

(1) 社会保障の充実と財政健全化のバランスを取りつつ、人づくり改革の安定財源を確保するために、2019年10月1日に予定している消費税率10%の引上げ分である2%にあたる5兆円の税収のうち、従来は5分の1を社会保障の充実に使い、残りを5分の4の財政再建としていたが、使い道の見直しが実施された。この消費増税の引上げ分の見直し内容について説明しなさい。

(2) (1)の消費税率の引上げにあたって、低所得者に配慮する観点から実施された軽減税率制度の是非を論じなさい。